

ご一緒に、いい人生



証券コード：4681

第50期 中間期 株主通信 Vol.48

2022年4月1日～2022年9月30日



INVESTORS' REPORT
April 2022 - September 2022

RESORTTRUST

TO OUR SHAREHOLDERS

株主の皆様へ



CEO 伊藤 勝康



COO 伏見 有貴

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、当社グループへの日頃のご支援に心より御礼申し上げます。当中間期の経営成績は、緊急事態宣言が発出されていた前年同期と比べ、大幅に伸びいたしました。2022年3月に発売した「サンクチュアリコート琵琶湖」を中心にホテル会員権の販売が好調だったことに加え、会員制ホテルの稼働率も急回復するなど、新型コロナウイルスの感染拡大前をさらに上回る需要の高まりを感じております。メディカル事業においても、引き続き会員権販売が堅調だったほか、会員数の増加に伴って会費収入が着々と積み上がり、収益に大きく貢献するようになってきました。

中期経営計画「『Connect50』ローリングプラン」も、順調に進行しております。コロナ禍や国際・金融情勢などまだまだ予断を許さない状況が続いておりますが、当社グループにおいては、コロナ禍による厳しい状況を乗り越え、新たな成長を目指せるステージに突入したと捉えております。

今後とも引き続き皆様のご支援ご鞭撻を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

2022年12月

代表取締役会長 CEO（最高経営責任者）伊藤 勝康
代表取締役社長 COO（最高執行責任者）伏見 有貴

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

会員権契約高が上期で過去最高となるなど、各事業の回復傾向が鮮明に。 通期業績予想も大幅に上方修正しました。

ホテルレストラン・メディカル事業の運営が好調、 上期で過去最高の売上高

—— 当中間期の事業環境と業績についてお聞かせください。

長引くコロナ禍や物価上昇などによって厳しい国内情勢が続いていますが、当社グループにおいては、会員権販売及び施設稼働率が高水準で推移し、業績は急回復しました。会員権契約高は

443億円と上期では過去最高となり、ホテルレストラン等事業とメディカル事業も、それぞれ上期の売上高が過去最高を更新しました。その結果、当中間期の売上高は前年同期比9.9%増、営業利益は同39.5%増と、大幅な増収増益となりました。ホテルトラスティ7施設の譲渡等による固定資産売却益90億円を特別利益に計上したことで、純利益はさらに大きく増加しております。

会員権事業では、施設固有のテーマ性を備え、コロナ禍にお

ける滞在型ニーズにお応えした新商品「サンクチュアリコート」シリーズの第二弾、「サンクチュアリコート琵琶湖」の会員権契約高が320億円に達しました。琵琶湖畔という抜群のロケーションに加え、温泉やスパ&ウェルネス施設、愛犬と過ごせるお部屋やドッグランなどの充実した施設・サービスも高く評価されています。新規開業物件の不動産収益の計上は開業まで繰延べられるという会計上のルールの影響などから、当事業セグメントの業績は減収減益となっておりますが、会員権販売そのものはきわめて好調に推移しております。

ホテルレストラン等事業は、会員制リゾートホテルの宿泊需要がコロナ前を超えるほどに高まったことなどから、大幅な増収増益となりました。メディカル事業では、会員制総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権販

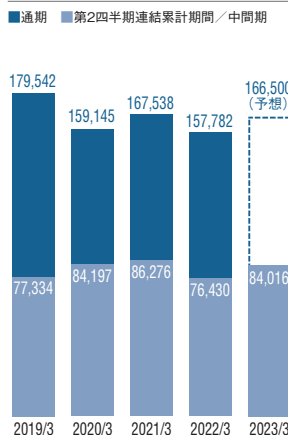
売が順調だったことに加え、会員の増加に伴う年会費収入等の増加もあり、増収増益となりました。

好調な上期業績を受け、通期業績も上方修正

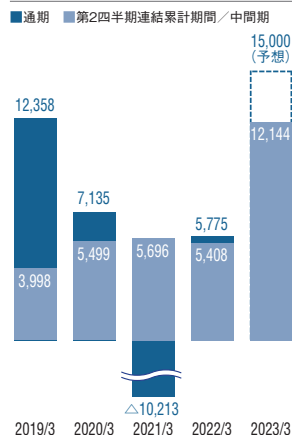
—— 通期の業績見通しについてお聞かせください。

好調な上期業績を受け、通期業績予想についても上方修正いたしました。「サンクチュアリコート琵琶湖」に加えて、10月に発売した「サンクチュアリコート日光」が順調なスタートを切っており、通期でも過去最高の契約高を見込んでおります。「サンクチュアリコート」3物件は未開業物件であり、来期以降の開業する期に不動産収益が計上されるため、当期の業績への貢献は評価ベースと比較して限定的ではありますが、ホテルレストラン等事業の収益

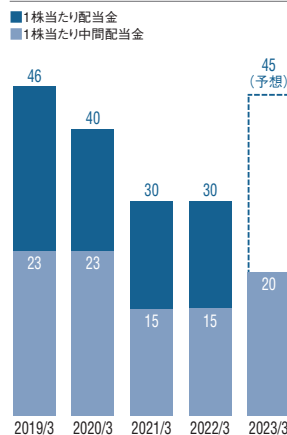
売上高(百万円)



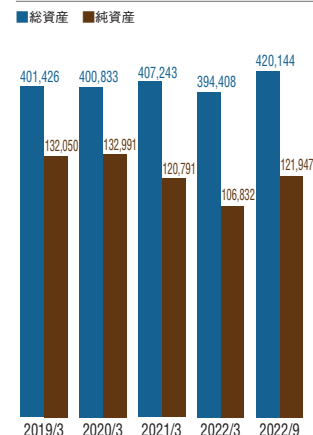
当期純利益(百万円)



1株当たり配当金(円)



総資産(百万円)/純資産(百万円)



※ 予想に関する数値は、2023年3月期第2四半期決算発表日時点の見通しに基づくものです。経済環境の変化などにより、実際の業績が予想と異なる可能性があります。

が大幅に改善するほか、メディカル事業も順調に拡大する見通しで、連結売上高は前期比5.5%増、連結営業利益は同32.3%増と、前期実績及び期初計画を大きく上回るとみております。

「サンクチュアリコート日光」は「サンクチュアリコート」シリーズ第三弾として、日本有数の観光地として名高い日光に立地し、162のすべての客室に温泉のビューバスとバルコニーを備えるなど非常に魅力的な物件となっております。2026年2月（予定）の開業に向け、順調に開発が進んでおります。

メディカル事業では、関東及び関西でハイメディックの新たな拠点展開に向けた検討を進めるほか、シニアライフ事業では、より収益性・安定性を考慮した新商品の導入を進めております。またこのほど、子会社の株式会社CICSが、血管肉腫を対象としたホウ素中性子捕捉療法（BNCT）の国内第Ⅱ相臨床試験を開始しました。BNCTは新しいがんの治療方法として注目されており、その実用化に向けた取り組みが着々と進んでいます。

中期経営計画で掲げた業績目標の早期達成を目指す

—— 中長期の成長戦略についてお聞かせください。

現在取り組んでいる3年間の中期経営計画「『Connect50』ローリングプラン」では、最終年度の2024年3月期に連結売上高1,900億円、連結営業利益200億円などを達成する数値目標を掲げております。これに関しては、2年目の当期で早くも、評価ベース*でクリアできる見通しで、極めて順調に推移していると捉えております。

当社グループでは中長期の成長に向けて、会員制モデルを基軸とし、顧客数（会員数）と、1顧客（会員）当たりの利用額の双方を増やしていくことに重点を置いております。顧客数の増加に

向けては、引き続き会員制リゾートホテルなど魅力的な商品の開発に努めることに加え、紹介による契約効率の向上やデジタルマーケティングの活用による販売力の強化などに取り組めます。利用額の増加に向けては、SNSを活用した顧客との接点強化やグループ商品の周知などクロスセル戦略を推進しております。

また、中長期的な企業価値の向上に向け、サステナビリティ経営の実践にも注力しており、上期は「サステナビリティ委員会」の開催や重要課題（マテリアリティ）の選定、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同表明などを実施しました。下期以降は各種評価指標や目標値の設定、具体的な対策計画の策定などに取り組んでまいります。

※不動産収益の繰延・開業時の実現影響のほか、コロナ禍特有の会計上の要素等を控除し、期間収益の実力を示す当社独自の指標

—— 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

通期業績の見通しを上方修正したことを受け、期末配当金の予想につきましても、期初予想の1株当たり20円から、25円に修正いたしました。年間配当金は45円となり、前期比で15円の増配となる見通しです。

まだまだ先行き不透明な経済情勢が続いておりますが、足元では、会員権販売は過去最高に近い水準で推移しており、会員制ホテルの稼働率も急速に回復してきています。コロナ禍の厳しい事業環境の中で身につけた効率的な経営体質を、今後の本格的な回復局面で役立てることで、今後の大きな飛躍につなげてまいります。

今後とも引き続き皆様のご支援ご鞭撻を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 COO 伏見 有貴

REVIEW OF OPERATIONS

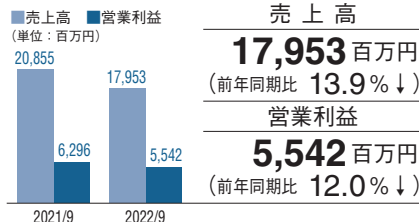
セグメント別概況

会員権事業

Membership Operations



東京、名古屋、大阪に近く利便性の高い、高級会員制リゾートホテルの開発と、それらの会員権販売などを行っております。



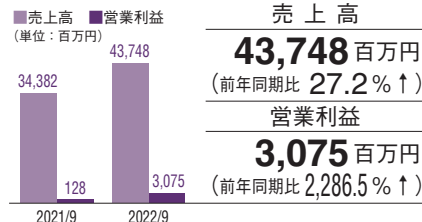
会員権事業においては、2022年3月から販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」の会員権販売が好調に推移したことで、開業するまでの間、繰延べられる不動産代金の売上高、原価が増加したこと、前年同期に比べ、利益率の高い既存会員権の販売量が減少したことなどのセールスマックスにより、減収減益となりました。

ホテルレストラン等事業

Hotel & Restaurant Operations



本物志向の設備、料理、サービスを核とするホテル・レストラン運営、会員制ゴルフ場の運営などを行っております。



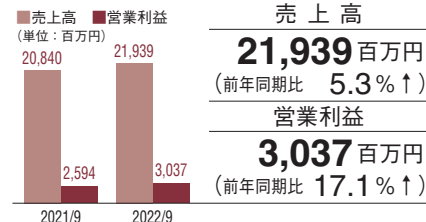
ホテルレストラン等事業におきましては、前年同期には、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が発出され、移動制限がありました。当期は経済活動再開に伴い、特に、リゾートホテルの需要はコロナ前を超えるほどまでに高まったことなどにより、一部ホテル売却の準備コストがかかったものの、増収増益となりました。

メディカル事業

Medical Operations



高品質な健康関連サービスを提供する総合メディカル事業及び有料老人ホーム等の運営を行っております。



メディカル事業におきましては、会員制総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権販売が順調であったこと、また、会員の増加に伴う年会費収入等の増加などにより、増収増益となりました。

本社費(全社費用)

Overhead expenses



SPECIAL SECTION

特集

世界遺産の地・日光に誕生 サンクチュアリコート日光 ジャパニーズモダンリゾート

日光の山々を望む自然豊かな景勝の地に、奥ゆかしい日本の美と優雅さをモダンな空間へと昇華させた完全会員制リゾート「サンクチュアリコート日光 ジャパニーズモダンリゾート」が新たに誕生します。当ホテルは2026年2月の開業を予定しています。



Location & Access

お車でお越しの方

- ▶ 日光宇都宮道路「今市」I.C.より約15分
- ▶ 東北自動車道「矢板北」スマートI.C.より約30分

電車でお越しの方

- ▶ 東武鬼怒川線「新高徳」駅よりタクシーで約3分
- ▶ 東武日光線「下今市」駅よりタクシーで約15分



LOBBY

窓外には鬼怒川とつながるかのような流水景の主庭が広がる解放感のあるロビー。昼、黄昏、そして夜へと、表情を変える水景の幻想的な移ろいに心癒される。

SPECIAL SECTION

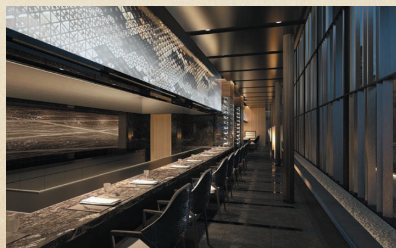
特集

湯にひたり
四季と共鳴する空間



HOT SPRING

日光の四季の移ろいを感じられる温泉露天風呂は湧出量が豊富な自家源泉。アルカリ性の泉質から「美肌の湯」とも称される日光鬼怒川の名湯を心ゆくまで堪能できる。



上：日本料理レストラン 浮殿個室
下：日本料理レストラン 鉄板焼

RESTAURANT

鉄板焼、寿司カウンター、天ぷらカウンターを備えた日本料理レストランと中国料理レストランをご用意。個室でプライベートな食事を楽しむこともできる。



ROOM

3タイプからなる客室は全室スイートルーム。それぞれ和と洋の2タイプをご用意。全客室に温泉を引いたビューバスを備え、名湯を独占する贅沢な時間を過ごせる。



ロイヤルスイートのプレミアムルーム

がん 先端医療 新たながん治療のソリューション提供に向けて

ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の国内第Ⅱ相臨床試験について

当社の連結子会社である株式会社CICSは、ステラファーマ株式会社と共同で、「ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT)」の確立に取り組んでいます。この9月に完了した第Ⅰ相臨床試験では、BNCTによる治療の安全性と実施した照射線量に関する忍容性が認められました。続いて11月より第Ⅱ相臨床試験を、従来の化学放射線療法や放射線治療が困難な血管肉腫の患者様を対象に開始し、BNCTによる新たながん治療技術の開発を着実に進めております。



臨床試験が行われる国立がん研究センター中央病院の「BNCT」治療室

BNCTの治療の流れ

ステラファーマが創生したホウ素薬剤を注射する



がん細胞が薬剤を取り込む



CICSの治療装置で中性子を患部に照射する



発生した粒子線ががん細胞を破壊する

MUNOAGE (ミュノアージュ)

新エイジングケア美容液 「シャイニングトリートメントセラム」登場

「MUNOAGE®」は年齢サインの悩みに先端美容皮膚科学の発想で応えるエイジングケアブランド。新発売の美容液は、大人の肌のハリ・艶の低下やくすみにアプローチする成分を配合。スキンケアの最後に使用することで、美容液の前に使用したスキンケア成分の浸透を促します。



MUNOAGE (ミュノアージュ)
シャイニングトリートメントセラム

吉形玲美医師 新著発売記念 「閉経マネジメントセミナー」開催



グランドハイメディック倶楽部東京日本橋コースの倶楽部ドクター・吉形玲美医師の新著発売を記念し、特別セミナーを開催しました。人生100年時代、健やかに美しく過ごすためのヒントが満載のセミナーをオンライン配信中です。是非ご覧ください。



グループ会社の合併による事業強化





株式会社ハイメディック 医療 × 介護分野のシナジー

トラストガーデン株式会社

株式会社ハイメディックは2022年7月、トラストガーデン株式会社を吸収合併いたしました。シニア向け住宅での医療体制のさらなる向上を図ります。

リゾートトラストグループの重要課題

当社グループでは、創業以来約半世紀にわたる歴史の中で、社会や環境に配慮した経営を実践してきました。創業50周年に向けて、今後も将来にわたってステークホルダーの皆様や社会と共に持続的に成長するために、当社が取り組むべき重要課題として、4つのテーマ・11のマテリアリティを特定しました。

カテゴリ	リゾートトラストグループのテーマ	マテリアリティ	関連ゴール	
繁栄 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「ご一緒します、いい人生」の実現 ■ リゾートトラストグループ独自のブランド価値の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ① 一人ひとりの人生に寄り添うサービスの提供 ② サービスの品質・安全性・革新性の追求 ③ 地域の活性・貢献の追求 	<ul style="list-style-type: none"> 3 気候変動に脅かされる生態系を保護する 9 産業と雇用創出の促進 11 気候変動に由来するリスクを管理する 12 つくべき未来の持続可能な消費を推進する 17 パートナリングを促進して課題を解決しよう 	
	人 	<ul style="list-style-type: none"> ■ スタッフの「いい人生」 	<ul style="list-style-type: none"> ④ ダイバーシティ&インクルージョンの達成 ⑤ 全スタッフの「しあわせ」の追求 ⑥ 能力・キャリア開発 	<ul style="list-style-type: none"> 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を推進しよう 8 豊かになる経済成長を 10 気候変動を減らす
		地球 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然環境負担の低減（自然と共に生きつづける） 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ CO₂排出量の削減 ⑧ 廃プラスチック・食品ロスの低減 ⑨ 生物多様性の保護
ガバナンス 			<ul style="list-style-type: none"> ■ ガバナンス強化 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 透明性の高い事業運営 ⑪ 非財務情報の開示とステークホルダーとの対話促進

※ESG報告ガイドライン「ステークホルダー資本主義測定指標」に基づきカテゴリを整理しています。

Environment 環境 気候変動への取り組み**TCFDへの賛同**

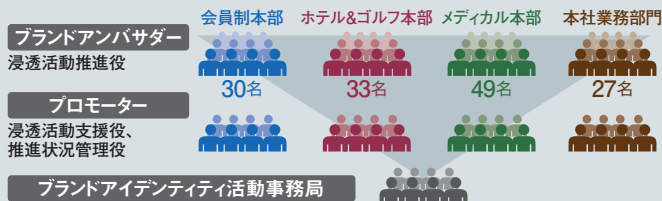
リゾートトラストグループは、2022年8月にTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同を表明いたしました。GHG（温室効果ガス）排出量削減は、当社が取り組むべき重要課題のひとつであり、対応策を強化しています。今後は、気候変動に係るリスク及びビジネス機会が当社の事業活動に与える影響について分析を深め、TCFD開示フレームワークに沿った情報開示についても拡充を図ります。

Social 社会 従業員とのエンゲージメント**ブランドアイデンティティ浸透活動**

新たなグループアイデンティティ「ご一緒します、いい人生 ～より豊かで、しあわせな時間（とき）を創造します～」のもと、ブランドアイデンティティ浸透活動を通じ、グループ内の幅広い事業で働く従業員一人ひとりが、会員制事業によって培われた、当社の強みであるエクセレントホスピタリティ・マインドを共有し、さらに育む活動を実践しています。

ブランドアイデンティティ浸透活動

- ▶ グループアイデンティティの浸透を図り、ブランドの向上に寄与する。
- ▶ チームの連携による各本部間のつながりを強化する。

**ブランドアンバサダーの役割**

- アイデンティティの浸透支援
- 自部署の組織活性化への取り組み
- 好事例の収集と共有
(LINE WORKSの活用やチームMTへ)
- 他本部のブランドアンバサダーとの情報交換

Governance ガバナンス 情報開示**統合報告書2022を発行**

今期は、当社の価値創造ストーリーを詳細にご説明するとともに、社外取締役を交えた座談会 (P18) など、当社をより深く知っていただける情報を拡充。

下記二次元コードからご覧いただけます。



https://www.resorttrust.co.jp/ir/library/investors_guide/

**6年連続で「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に認定(経済産業省、日本健康会議)**

従業員の健康の維持増進や、安全衛生に対する施策の実行と成果が評価され、2017年より6年連続で取得しています。

**「SOMPOサステナビリティ・インデックス」投資対象銘柄に選定(SOMPOアセットマネジメント)**

ESG（環境、社会、ガバナンス）への取り組み評価が高い企業として、投資対象銘柄に継続して選定されています。

**SDGs・サステナブル経営への下期以降の取り組み**

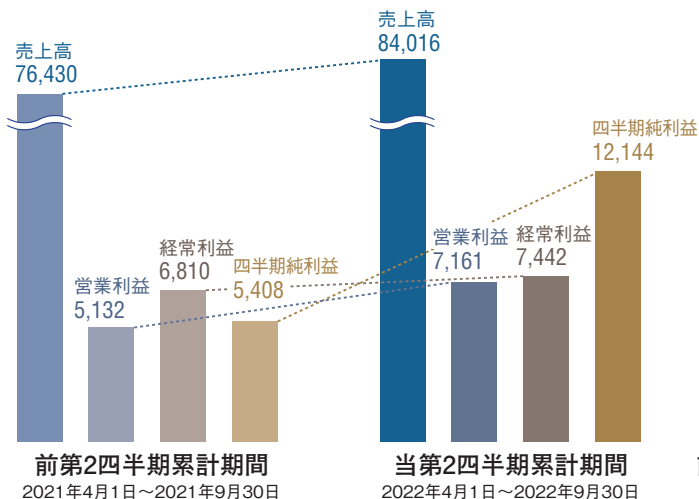
重要課題 (マテリアリティ)	<ul style="list-style-type: none"> ● マテリアリティ目標/指標項目決定 ● 第二回サステナビリティ委員会(2023年1月予定)
CO₂	<ul style="list-style-type: none"> ● CO₂排出量削減目標/計画 決定
社内浸透情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ● eラーニング ● スタッフからの価値創造アイデア募集企画(研修) ● マテリアリティ/CO₂ 拠点別目標落とし込み

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表

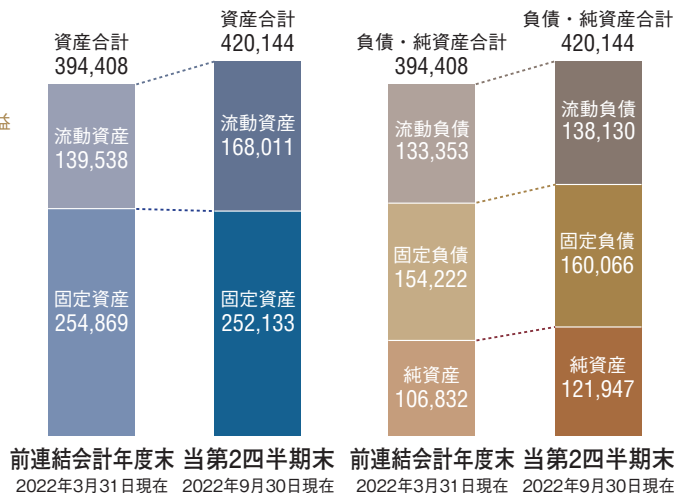
収益の状況

単位：百万円



財務の状況

単位：百万円



キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	前第2四半期累計期間 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	当第2四半期累計期間 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,073	1,319
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,325	14,645
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,703	△15,634
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	146
現金及び現金同等物の増減額	△18,393	476
現金及び現金同等物の期首残高	52,756	29,210
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,362	29,686

連結決算の概要

損益

会員権事業では「サンクチュアリコート琵琶湖」を中心にホテル会員権の販売が好調であったことに加え、ホテルレストラン等事業において会員制ホテル稼働率の急回復、メディカル事業においても健康志向の高まりを受けてメディカル会員権の販売が好調であったことなどにより、増収増益となりました。

財務

当第2四半期連結会計期間末の主な財務の変動は、会員制ホテル建設に伴い仕掛販売用不動産が10,598百万円増加するなど流動資産が168,011百万円になる一方、会計方針の変更等により長期リース債務が11,026百万円増加したことなどにより負債合計は298,196百万円となりました。

各種情報のご案内

各種情報に関しましては、以下のURLをご覧ください。

会社概要

<https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/outline/>

会社概要

会社名: リゾートトラスト株式会社

所在地: 〒460-8490 名古屋市中区東区2-18-31 (大栄ビル) | 〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-19-1 (大井町ビル)

代表取締役: 伊藤 崇樹 (CEO) | 代表取締役: 伏見 有貴 (COO)

創業: 1973年4月

資本金: 195億90百万円 (2022年3月末)

従業員数: 7,903名 (2022年3月末 連結)

役員一覧

https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/board_member/

役員一覧

役職	名前	所属会社
代表取締役ファウンダー	伊藤 崇樹	グループCEO(グループ最高経営責任者)
代表取締役会長	伊藤 崇樹	CEO(最高経営責任者)
代表取締役社長	伏見 有貴	COO(最高執行責任者)
専任取締役	井内 亮之	業務部門 営業 兼 COO(コンプライアンス責任者)

株式の状況・株式分布状況・株主メモ

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/information/index.html>

株式基本情報

項目	内容	備考
証券コード	4681	
業種	サービス業	
決算期	3/31	
発行済株式総数	150,000,000株	
株主数	33,483名	
上場場所	東証プライム市場、名証プレミア市場	
上場年月日	2008年11月27日	
発行単位	100株	
発行済株式の総数	108,520,799株	

グループ会社一覧

<https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/group/>

グループ会社

ホテル事業関連

RESORTTRUST HAWAII LLC: 代表者: 坂野 重利

RTCC (株): 代表者: 伏見 有貴

(株) ジェス: 代表者: 坂野 重利

(株) コンプレックス・ビジネス・インテリジェンシャル: 代表者: 坂野 重利

株主優待

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/benefit/>

株主優待情報

基本的な優待制度

100株以上の株主様に対し「株主優待電子チケット(2022.3末の株主様より)」を発行いたします

※電子チケットは、「RTTGアプリ」にて発行予定

※内容詳細は、2022年6月28日に株主様へ株式計算書とともに添付しています。

※2021年6月発行の紙の優待券は、2022年7月10日の期限までそのまま使用いただけます。

※ご不明な点については、FAQをご覧ください

株主優待電子化の注意点

当社は、従来「紙」で発行していた株主優待券を、2022年3月末時点の株主様へ贈呈する優待券より「電子チケット」にて発行させていただいております。株主様には電子チケットの取得に必要な個別QRコードを付した用紙を、株式関係書類と共に第49回定時株主総会(6月28日開催)後に一斉郵送しています。

その後、株式関係書類と共に株主優待用QRコード記載の用紙を誤って処分あるいは紛失してしまったとのお問い合わせを多くいただいております。次回の優待の発送予定は2023年6月末頃ですが、当社より株主様へ発送させていただく書類については内容をよくご確認ください。誤って優待利用に必要な書類等を処分されることのないようご注意ください。(原則として再発行はいたしません。)

また、個別QRコードを付した用紙は株主様の個人情報も記載されていること等から、複製・売買につきましては禁止としており、その旨を明記しております。本券に記載の禁止事項に抵触すると判断される場合には、優待をご利用になれません。

個人情報の不正利用や偽造品の被害防止のためにも、二次流通のご利用等はお控えくださいますようお願い申し上げます。当社株主優待券の売買によりお客様が不利益を被った場合、如何なる理由においても当社は一切の責任を負いかねます。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。